

盛岡市市産材流通推進 アクションプラン

【概要版】



盛岡市立繫小学校



1. はじめに

盛岡市域内で産出される木材（以下「市産材」といいます）の流通促進を図るため、盛岡市は平成18年度に盛岡市木材流通推進会議を設置しました。

盛岡市木材流通推進会議は、素材生産者や森林組合などの木材の供給者、製材加工業者や建築設計士などの木材の利用者及び行政が一体となり、市産材の流通を拡大するための具体的な実行プランとして、平成21年3月に「盛岡市市産材流通推進アクションプラン」を策定しました。

「盛岡市市産材流通推進アクションプラン」は、それぞれの立場から、またときには協働で取り組み、市産材の利用促進と安定供給体制の整備を推進しようとするものです。

現在も、盛岡市木材流通推進会議を定期的に行い、それぞれの取り組みや木材流通に関する情報交換を継続して行っています。

※林業・木材産業関係者

このアクションプランでは、森林所有者、森林組合、素材生産業者などの林業関係者に、製材加工業者、建築設計士、工務店など木材・住宅産業関係者を加え「木材の生産、加工及び流通に関わる者」として、林業・木材産業関係者と呼んでいます。

2. 現状と課題



森林・林業が抱える課題

木材価格の低迷などから、森林・林業を取り巻く情勢は厳しく、森林所有者の林業経営意欲が減退しています。その一方で、森林の成熟化が進み、伐期を迎えている森林も増加しています。

このままでは、優良な森林資源の造成が難しくなるばかりではなく、森林への手入れの停滞が続くことにより、森林の持つ公益的機能の低下を招くおそれがあります。

木材産業が抱える課題

長引く不況と国産材需要の停滞により、関連する木材産業も厳しい状況にあります。しかし、近年は、環境保全に対する意識の向上から、国産材の需要は増加傾向にあり、高まる消費者ニーズに対して、いかに木材を安定供給できるかが課題になっています。

3. 取り組み



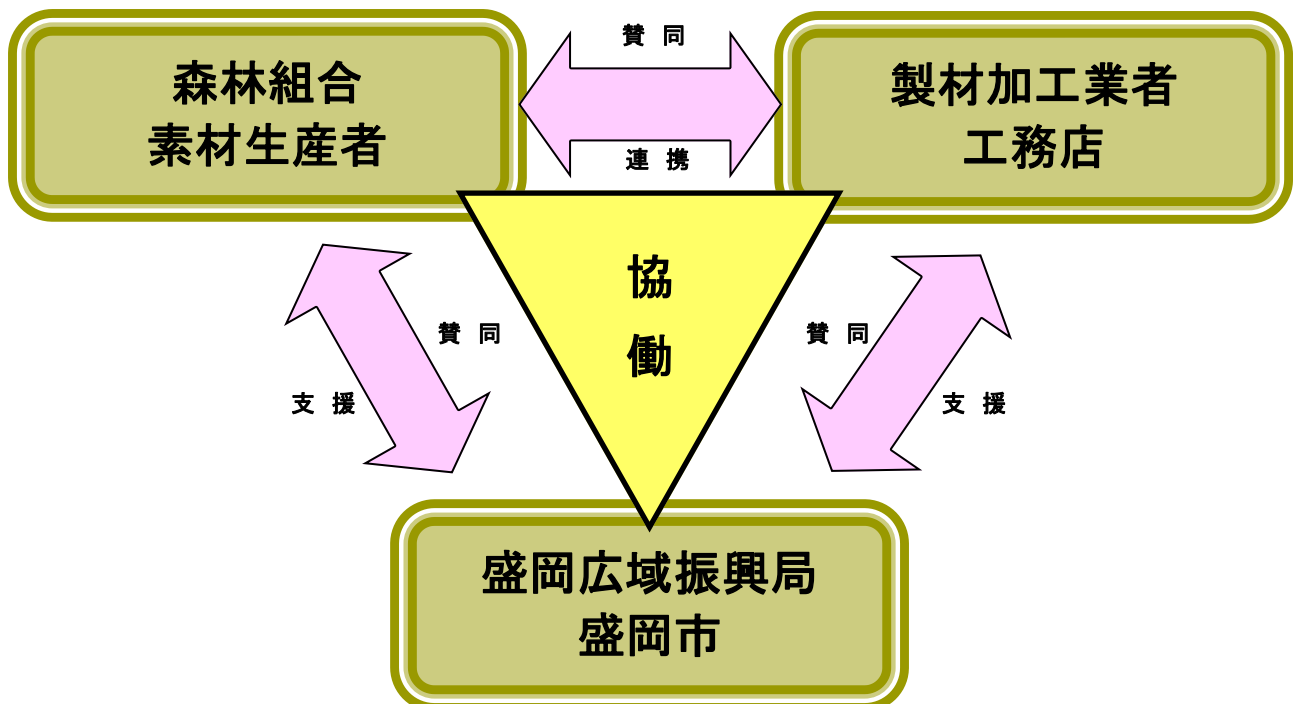
市産材の流通促進による、林業生産活動の活性化を目指し、次の項目について取り組みます。

1. 素材生産の向上と供給体制の整備
円熟期を迎えた森林資源を有効に活用するため、供給体制の整備を推進します。
2. 林内路網整備の拡充など生産基盤の整備
木材搬出を効率的に行うため、作業道開設等の基盤整備を推進します。
3. 製材・加工及び建築関連業種との連携
建築用材など林産物の需要に臨機に対応するため、安定した供給体制の整備を推進します。
4. 市産材の用途開発などの利用拡大
市産材の利用を拡大するため、市産材製品の開発やアカマツ材の有効活用を推進します。
5. 市産材利用を通じた森林づくり及び環境保全
木材利用の意義を広く周知するため、木造公共施設を活用した展示、見学等を行います。
6. 住宅建築への市産材利用及び木材製品の推奨
住宅建築への市産材利用や木材製品の普及を推進するため、木の良さを伝える活動を行います。
7. 木材に関する情報の共有と発信の強化
市産材の安定した供給体制構築のため、木材の需要供給に関する情報の共有化を図ります。

4. プランの推進



林業・木材産業関係団体と行政が協働し、プランの実行を推進します。





木材を利用し、豊かな森林づくりに
参加しましょう



町内会が整備したゴミステーション
(盛岡市市産材支給事業)



木造の市立洪民小学校(内観)



市産材を利用した住宅の見学風景

盛岡市市産材流通推進アクションプラン
【概要版】

平成21年3月 策定
平成27年3月 改訂

盛岡市木材流通推進会議
盛岡市

担当: 盛岡市農林部林政課
電話: 019(626)7541
FAX: 019(651)6248
電子メール: rinsei@city.morioka.iwate.jp